

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～



長崎市立三原小学校

「誇りをもち、主体的で、自律できる子どもの育成」

～安全・安心を大切にする三原っ子～



MIHARA TIMES

令和6年4月22日発行

文責 校長 増崎 祥宣

がんばっています。6年生。

新学期がスタートして2週間が過ぎました。その中で、6年生の頑張りをよく目にする事ができました。毎朝、当番を決めてあいさつ運動と掃除、そして1年生のお世話を頑張っています。

あいさつ運動は、登校するとすぐに玄関前に立ち、登校する児童に大きな声で「おはようございます」と声を掛けています。それに応えて、「おはようございます」と元気な声が返ってきます。そんな光景を毎朝一緒に見ている私も嬉しくなります。

ボランティア掃除も毎日溜まってしまいうちをきれいに掃除してくれ、とてもさわやかな気持ちになります。

「三原の誇り」として、伝統になりつつある6年生の朝の活動です。このような活動を通して、最高学年としての自覚をもってくれることを期待しています。



初めての給食。1年生。

4月17日、1年生は小学校での初めての給食を食べました。当番の児童が給食着を着て、配膳も自分たちで行います。給食準備室から重たい食缶を運び、ご飯やおかずをつぎ分けます。同じ量につぎ分けることは大変でしたが、先生の手伝いもあり、何とかこぼすことなく終わることができました。しかし、1番大変だったのは、給食着をたたんで袋になおすことだったかもしれません。床に付けずにたたむことは練習が必要かもしれませんね。

初めての給食のメニューは、カレーライスでした。どの児童も「おいしい」と言いながら、残さずに食べることができました。

好き嫌いをなく、何でも食べて、元気な体に成長してくれるといいですね。



交通指導員さん、ありがとうございます。

三原小学校には、児童の登校の安全を見守ってくれている2名の交通指導員さんがいます。小村富士子さんと早田知礼さんのお二人です。どちらも仕事に行く前の忙しい時間を三原小の子どもたちのために使ってくれています。三原小の通学路は、道幅が狭いうえに、歩道に止まっている車があったり、信号が変わりそうになるとスピードを上げる車があったりして、とても危険です。そんな中で、立哨を続けてくれる交通指導員さんへは、感謝の気持ちを込めて、気持ちのよいあいさつでお応えするとともに、大人も交通ルールを守っていききたいですね。

